

# 第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会 参加報告

釧路明輝高等学校PTA会長 古俣 丈夫

平成29年8月24、25日の2日間に渡り、静岡県袋井市、静岡市、浜松市で開催された第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会に、藤井校長と参加してまいりました。

メインテーマを静岡県がすすめている「有徳の人づくり」、サブテーマを「未来のために行動する一人を育てよう」とし、全国から9,000人を越える方々が一堂に会し、講演や分科会を通じてPTA活動に対する理解を一層深めました。

2日間とも、気温が36度を超える猛暑日でした。暑さとたたかいながら、心を熱くして研修に励みました。

講演並びに分科会の概要を取りまとめましたので、参考にしていただければ幸いです。



## 【全体会】

### 1日目 開会式

〈ご挨拶〉

静岡大会実行委員長 杉浦政紀氏  
全国高P連会長 牧田和樹氏

〈来賓祝辞〉

文部科学大臣 林 芳正氏  
静岡県知事 川勝平太氏



### 1日目 基調講演 「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」

講師 静岡大学名誉教授 小和田 哲 男 氏



NHK大河ドラマ（軍師官兵衛、おんな城主 直虎など）の時代考証を担当されている小和田氏から、北条氏や豊臣秀吉、土屋忠直など様々な歴史上の人物の生き方やエピソードに基づき、子育てや人づくりについてお話しいただきました。その道の第一人者らしく、詳細な人物・時代分析に裏付けられた説得力あるお話しぶりに、時間はあっという間に過ぎました。

「褒め方、叱り方それぞれにはコツがあること」、「長所やよさを十分に見極めること」、「自分好みの者や自分の言うことを聞く者ばかりを集めてはだめなこと」、「教育は生涯にわたって行われるものであり、学校だけが教育の場ではないこと」などのお話から、人を育てる上で大切なことを改めて考えさせられました。「歴史から学ぶ」とはよく言う言葉ですが、先人たちの生き方や考え方から、未来を生き抜く知恵やヒントを学ぶことの大切さを、小和田氏の講演から感じることができました。

2日目 記念講演 「寛利夫 これがオレの生きザマだ！」

講師 俳優 寛 利 夫 氏

浜松市出身で、浜松東高校を卒業した俳優 寛利夫氏から、高校時代のエピソードや家族との思い出、劇団時代の苦労などを通して、今日の俳優としての地位をどのように築いてきたかを、楽しく愉快にお話いただきました。「不得意教科をつくらず、まんべんなく勉強した方がよいこと」、「高校時代の恩師の厳しさが今の自分に大きな影響を与えていること」、「役に徹するため、洋服などにこだわりを持って取り組んでいること」、「頑張れば何事も何とかなること」などのお話から、テレビを通して見る華々しい姿の裏にはたゆまざる努力や信念があるのだということが理解できました。



今後も親しみやすいキャラクターを大切に、日本の俳優のトップリーダーとして、ますます活躍してほしいと思いました。

【分科会】

第1分科会 学校教育とPTA ～「有徳の人」を育てる学びの場の充実～



第1分科会では、「PTA活動を通して、生徒によりよい学びの場の提供をどのように支援し学校と連携・協働していくべきか」といった視点から、4校のPTAから発表いただくとともに、その内容について協議を深めました。

発表の概要は次のとおりです。

- ① 青森県立八戸工業高校PTA会長 橋本 修氏
  - ・学校祭における豚汁販売への協力に取り組んでいること
  - ・PTA活動の魅力は、家庭で見ることのできない子どもの様子を知る機会があること。また、保護者が交流することによって、子育ての悩みを共有し、その解決の糸口を発見できること
  - ・学校の伝統継承のため、地域とPTAの信頼関係を大切に、取り組むことが大切であること
  - ・PTA活動は、保護者にとっての「生涯学習の始まり」
- ② 山梨県立甲府昭和高校PTA会長 小林 淳氏
  - ・生徒指導、保健体育、生徒指導の3部門に分かれたきめ細かなPTA活動を実施していること
  - ・PTA主催でフードバンク食品回収を実施していること。この取組を通じて、生徒や地域との関わりが深まったこと
  - ・フードバンク活動を通して、生徒に、自ら考え、判断し、行動する力、思いやりの気持ち、表現力など、これからの社会で求められる力をつけていくことができること
- ③ 石川県立小松高校PTA会長 福島知朗氏
  - ・総会への出席率が70%を超えるなど、保護者の活動に対する意識が高いこと
  - ・活動に対する満足度アンケートを実施しながら、改善点の把握に努め、よりよい活動になるよう工夫改善を図っていること

- ・広報紙の発行においては、保護者が本当に知りたい情報を特集として掲載していること。特に保護者のホンネ、子どものホンネは好評であること
- ・清掃活動を親子ボランティアとして実施するなどして、地域貢献と親子の関わりを同時に実現していること

④ 島根県立矢上高校PTA会長 大屋光宏氏

- ・生徒数の減少等で、学級減等の厳しい状況にある中、生徒数の確保に向け、PTAとして様々な活動に積極的に取り組んでいること
- ・地区代議員の選出をお願いするなど、地域にもPTA活動に関わってもらっていること
- ・高校の魅力化に向けた様々な取組を行ってきた結果、生徒や保護者の満足度が高まっており、成果があがっていること
- ・町外、県外からの入学者の保護者から刺激を受け、PTA活動が充実してきていること

助言者である静岡文化芸術大学准教授 小杉大輔氏並びに（株）NOKIOO ON-MOプロジェクト代表 小田木朝子氏から助言がありました。助言の主な内容は次のとおりです。

- ・役割を引き受けることの大切さを認識すること。自分のやりたいことをやるだけではだめで、PTA活動の役割を認識し、引き受けることが大切であること
- ・答えのないものの答えを探す姿勢が大切であること。自分で問題を見つけ、問題を解決することを通して意義付けをしていくことが大切であること
- ・誰の役に立っているかを考えること。PTAの実践は生徒のみならず、地域に大きく貢献していること
- ・これからの子どもたちにとって必要と思われることは、親の立場で実践していくことが大切であること
- ・PTA活動を通して保護者が街づくりに参加したり、高校生が地域と関わっていくことは、地域の魅力を知ることになり、永住促進につながっていくこと
- ・子育ての悩みを共有し解決していくツールとして、PTAの意義は大きいこと

## 他の分科会の概要

会場が分散しており、第1分科会以外は参加できませんでしたが、他の分科会の概要は次のとおりです。

- 第2分科会 進路指導
  - ・働く喜びや厳しさを子どもたちに伝えることが大切
  - ・保護者の研修の機会を増やす工夫が必要。そのためICT等を活用することが効果的
- 第3分科会 生徒指導
  - ・安心・安全な環境を提供するため、PTAとして工夫を凝らしていくことが必要
- 第4分科会 家庭教育
  - ・家庭、地域が子どもを見守ることにより、自己肯定感を育むことが必要
  - ・子どもを主役にした取組を実践することが大切

全国大会に参加し、多くのことを学びました。子どもたちの教育活動の充実に向け、工夫改善を図りながら取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともPTA会員の皆様にはご支援、ご協力をいただきますよう、PTAを代表してお願い申し上げます。